



清 遠

声援・青縁

～信頼される先輩になろう～ 令和元年9月11日 第10号
「気づき、考え、実行する」

仙台市立高砂中学校

第2学年だより

『高砂中生の使命・2学年の役割』

期末考査も終わり、これから運動会の準備が本格化します。先日的高中祭では当日の発表はもちろん、準備や片付けもよく頑張りました。2学年は主に体育館と武道館を担当しましたが、それぞれ自分の役割に積極的に取り組み、さらに忙しい人を手伝う姿も見られ、成長を感じました。

ここに、平成25年度の高中祭閉会セレモニーでの代表生徒の言葉を載せます。震災直後に入学した先輩が、3年生になったときの言葉です。

(中略) 2011年3月11日、大地震と大津波が東北地方を襲い、多くの命が失われました。津波の被害を受けたのは、高砂中も例外ではなく、校舎1階が浸水し、校庭はヘドロでいっぱいになり、体育館は使うことができなくなってしまいました。そんな中、私たちの前の先輩方が、新学期のためにと、校舎や校庭のヘドロさらいなど、学校復旧のためにたくさんのごんごんをしてくださり、卒業していきました。震災翌日に控えていた卒業式はできないままでした。

それと入れ替わるように私たちが入学してきたのです。体育館が使えなかったのも、入学式は鶴巻小学校で、初めての学年集会は200人を視聴覚室にぎゅうぎゅうに詰め込んでやりました。給食はパンと牛乳だけで、おかずを家から持ってきました。また、体育の授業や部活動は高砂市民センターと小学校を借りて行い、体育のマット運動は学校の廊下でしたりもしました。正直に言うと、とても不便でつらかったです。しかし、日本各地から支援や励ましの言葉が届き、元気が出ました。今年の2月、待ち望んでいた体育館が復旧しました。ピカピカの新しい床を見たときは、上を歩くのももったいないと思うくらい嬉しかったです。そして、自分の学校の体育館で授業や集会が開けるのは、とても幸せなことだと感じました。

こうして振り返ってみると、私たちの学年は、実際にこの場所で被災はしていないけれど、高砂中の復旧・復興の過程をすべて見てきたことが分かります。だからこそ伝えなければならないことがたくさんあるのです。当たり前のことを当たり前だと思っただけのまま過ごしてはいけないこと、たくさんのおかげで自分たちの今があることに感謝しなければいけないこと。私は今、こうやって体育館の壇上で話していますが、1年前の高中祭ではできないことでした。こうした一見ささいに見えることでも、たくさんのお人の思いが詰まっていた、たくさんのお人が待ち望んでいたことだということを忘れずに、後輩たちに伝えていってほしいと思います。あの日から被災地は、復興に向かって前に一步一步前進してきました。これからも前進し続け、復興のその先へと歩いていくのだと思います。この高中祭は、少しですが前進する力になったのではないのでしょうか。(以下省略)

【高中祭閉会の言葉：3学年代表】

この言葉にある精神は、高中祭だけでなく運動会にも、また学校生活の多くの場面にも通じるものです。運動会でも学級一丸となる姿、縦割りを超えて協力する姿を地域の方々に見ただくことに意味があります。ただ自分たちだけが楽しむのではなく、より高いものを目指して後輩を思いやり先輩を助け、地域の希望の光となること。これから『高中の顔』として3年生からバトンを引き継ぐ2年生に常に意識してほしいことです。

“授業参観・学年保護者会お待ちしております。”

学校からのお知らせの通り、9月25日(水)は授業参観・学年保護者会です。授業参観は『学年道徳』を体育館でする予定です。2学期からは2年生が高中をリードする立場になります。この時期に合わせた、学年全体で考える道徳をぜひご覧ください。その後、学年保護者会も視聴覚室で行います。お忙しいところは存じますが、こちらもぜひお越しください。

【お知らせ】

仙台市PTA協議会より「沖縄・渡嘉敷島」研修参加者募集の案内がきています。

研修期間：令和2年3月25日(水)～3月29日(日) 4泊5日

研修場所：国立沖縄青少年交流の家ほか

対象者：各県・市地方協議会が推薦する中学2年生男女各1名(仙台市で男女各1名)

選考方法：各学校の校長先生とPTA会長に推薦された生徒の作文で選考

興味のある人は、学級担任に相談してください。校内応募締め切りは、9月20日(金)です。

夏休み明けの実力考査の結果を、9月6日(金)に配付しました。お子さんにご確認ください。

第三者への公開・開示や不当な目的利用、複写および複製等はお断りします。